

学校関係者評価報告

令和8年度の学校関係者評価委員会を開催し、「令和7年度 青山建築デザイン・医療事務
専門学校の自己点検・自己評価」をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

学校関係者評価委員会開催日：令和8年5月30日(土)

学校関係者評価委員：

1. 井野 雄介 医療法人社団親寿会 池永クリニック事務長
2. 白田 智樹 白田建築事務所 主宰
3. 本間 純子 (有)アリエルプラン・インテリア設計室 取締役
4. 中村 容子 診療情報管理士専攻科 保護者
5. 滝沢 芹奈 平成29年9月建築研究科 修了

青山建築デザイン・医療事務専門学校

高林校長、加藤広報部長、矢野教務部長

山本総務部長、武川教務部課長

令和7年度 自己点検評価

青山建築デザイン・医療事務専門学校

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果
教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び目標の設定	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材象を明確にしているか。	3

【評価結果の分析】

小項目1について、本校の教育方針は「本校は、学校教育法第124条及び125条に基づく専修学校として、本校設置課程の工業分野では、建築の設計・監理・デザイン・施工、商業実務分野では、医療事務・診療情報管理の専門知識・技術を習得させ、自主的精神に充ちた学生の育成を目的とする。」

【今後の課題】

特になし

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果
教育課程、 教育の実施、 学修成果	1 教育課程の編成 と授業科目	1. 教育課程編成・実施方針に基づき教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。 2. 外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目が300時間以上開設しているか。(外)	2
	2 教育の実施	1. 授業科目内容に応じて、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、基準に基づき成績評価を行っているか。 2. 企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という)の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定しているか。(職)	2
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定しているか。	3
	4 学修成果目標の 達成状況	1. 卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。)についての目標を定め、その目標が達成できているか。 2. 学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。	3

【評価結果の分析】

小項目1について、教育課程編成・実施方針を作成し、体系的に編成した上で、系統性等に配慮した配置となっている。

小項目2について、授業科目に応じた講義や実習等が組まれているが、設計のみの連携となっている。

小項目3について、学校の養成する人材を実現するために必要な卒業認定方針を定め、方針に基づき卒業認定を行っている。

小項目4について、資質能力の修得についての目標や学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成されている。

【今後の課題】

学校：外国人留学生の入学を増進したい。

オープンキャンパスには、1～2件の問い合わせは来ているが、入学に至っていない。

学校：企業等と連携した実習を増やしていきたい。

委員：設計やインテリア希望はいるようだが、電気設備等の職人さん希望はいるのか？ 事務や設計はAIが普及してきているが、職人はAIには出来ない。

学校：大工などは増えてきているが、職人希望者は少ない。今後、設計も絞られてくるのではないかと思う。これからは手に職を付けた方がよい。

委員：建築系は職種が多いため、学生が知らない職種があるのではないか。

昔は、現場でのアルバイトもあったが、現在は怪我や事故等で関係者以外で現場に入ることが出来ない。

委員：学生の際は、資格取得を目的としていたが、早い段階で職種を決めることが出来れば、必要な資格がわかるのではないか。(卒業生)

学校：企業説明会やオープンカンパニーも増えてきている。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果
学生の受入れ、学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	1. 入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定しているか。 2. 学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか。(修)(外)	3
	2 多様な学生に対する支援	海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されているか。(外)	2
	3 学生生活に関する支援	1. カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか。 2. 留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか。 3. 学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか。 4. 学生のキャリア支援、就職支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	3

【評価結果の分析】

小項目1について、入学者の受け入れ方針、入学選考基準等を定め、説明会等で明示するなど対応している、入学者選抜も公正に実施し合否を決定している。

小項目2について、留学生等の支援や在籍管理等の体制の構築をおこなっている。

小項目3について、カウンセラーや相談室を設置し、運用する等の対応がとられている。また、学校保健安全法に基づく対応や学生の経済的支援、キャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、説明会等で周知している。

【今後の課題】

学校：実績がないため、外国人留学生の入学を増進したい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果
教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用しているか。	3
	2 教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか。	3
	3 教員の資質の向上	1. 学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか。 2. 特に職業訓練実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているか。(職) 3. 教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っているか。(職)	2

【評価結果の分析】

小項目1について、学校のホームページで随時、教員の募集をおこなっている。応募があった場合は、書類選考、面接選考を実施し、採用にあたっての基準を整備し、運用している。

小項目2について、学則・教務規定やその他の規定に基づき教員組織を整備している。また、校務分掌を作成し、各教員の業務分担、責任体制を示し運用している。

小項目3について、前期終了前に学生による授業アンケートを実施し、その評価内容を各科目の担当教員と共有して、次年度の授業改善に活用している。学内で、非常勤講師も対象とした「学生に対する指導力を修得・向上するための研修」と、建築系と医療事務系の各専門分野における研修をおこなっている。

【今後の課題】

学校： 企業等と連携する研修を、他分野企業とおこなうことも進めていきたい。

委員： 非常勤講師は、現場や業界の話聞かせる時間はあるのか？自分が講師をしている時は、授業時間内には中々できなかった。

学校： 講師にも寄るが、学生の相談には親身になってくれている。インテリアコーディネーターの講師は、自宅のアトリエに学生を招き2次試験の対策をすることも

あった。今後もそういった体制を整えていきたい。

委員： 設備は人気がないため、講師が設備の面白さを語ってほしい。

委員： 設備は最初から最後までお世話になる。

学校： 待遇も良くなってきている為、学生も興味を持ち始めている。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果
教育環境	1 教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・整備、機械器具等を備えているか。	3
	2 安全対策、防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか。	3

【評価結果の分析】

小項目1について、中長期計画をもとに、毎年の事業計画により整備している。

小項目2について、安全対策は防災・防犯設備を整備している。防犯設備は委託業者(北海道防災指導センター)、機械警備は委託業者(ベルックス)に委託し、定期的に点検検査等を実施している。

【今後の課題】

委員：北海道危機管理室が紹介している「避難所運営ゲーム(HUG)」という、カードゲーム(200枚ほど)がある。シュミレーションをして、暮らし方や優先順位などを、自分たちで考えるゲーム。

人それぞれで、何通りもの考え方があり面白いので、学生にもチャレンジさせても良いのではないか。次に何をすれば良いか、人生のトレーニングにもなる。

学校：年に一回避難訓練のみの実施をしており、意識の向上に努めている。「避難所運営ゲーム」は今後取り入れてみたい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果
教育活動の基盤と改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務基盤	当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	2
	2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む)。	3
	3 学校評価の実施と改善活動	1. 職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。(職) 2. 学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか。 3. 学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか。	3
	4 社会からの理解と情報の公表	当該専門学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか。	3

【評価結果の分析】

小項目1について、中長期事業計画を定め、それに基づき財務基盤を確立している。

小項目2について、例年2月末頃までに各部にて次年度の事業計画を案を策定し、3月開催の定例理事評議委員会で次年度の予算と共に審議し、学校運営をおこなっている。

小項目3について、教育課程編成委員会を年2回実施している。結果については、学校のホームページに情報公開している。

小項目4について、教育活動、学修成果、学校運営等に関する情報は、学校ホームページで毎年度更新し、公表をおこなっている。また、学校の教育活動については、各種SNSでも公開している。

【今後の課題】

委員： 高校では、大学を進められるのが現状である。少人数制の専門学校(診療情報管理士)は他にないため、本校に入学したので、今後再度復活することはあるのか。

学校： 将来的にはわからないが、現在は考えていない。

委員： 高校生だけでは今後限界があるため、社会人やシングルマザーを対象として夜間に開校したらどうか。

学校： 現在、職業訓練を実施している。

入学者数を増やす為に、今後色々と検討し、財務に関して更なる安定基盤を構築していきたい。

委員： 同窓会を開催したほうが良い。ネットワークを広げ色々と情報交換ができる。

学校： 今年の10月に実施予定である。